



「今季一番の寒気…」というニュースを聞く時期になりました。学校周辺の木々の葉が一気に秋色に深まり、校庭の端にあるイチヨウの木が朝夕の日差しを浴びて輝いています。

さて、「秋の日は、つるべ落とし」と言われますが、夕闇が迫るのが早くなりました。子供たちの放課後の過ごし方はどうでしょう？「今の子供たちは忙しい。」などとも言われます。家族とゆっくりと話をしたり、散歩したり、何をするでもなくのんびりとボーっとしたり… そんな時間も子供の生活には必要なのではないのでしょうか？我々大人も、そんな時間をつくりたいものです。

金色のらひさき鳥のかたらしして
銀杏らるるなり夕日の立に



与謝野晶子

思い出できたかな？

11月29日(水)の6年生の予科練平和記念館への校外学習で、各学年の校外学習が終わりました。ご協力ありがとうございました。

どの学年もお天気に恵まれて、楽しく校外学習を行うことができました。コロナ明けで、いよいよ通常通りの学校生活が送れるようになったことを改めて嬉しく思います。

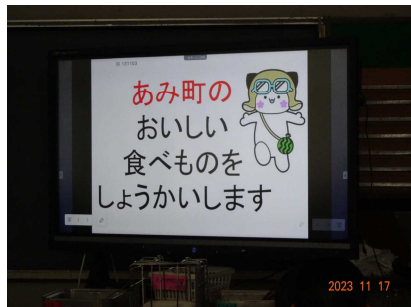
学習指導要領では体験活動が重視されています。いろいろな体験をする機会を作るのは学校の大きな役割のひとつです。思い出とともに子供たちの心に何かが残っていてくれたら嬉しいことです。各学年の様子は学年だよりで…



地産地消で美味しい給食！

学校栄養教諭の小林先生が、各学校を訪問して給食についてのお話をしています。「本郷小の子たちは、いつもよく食べてくれて残りが少ないので嬉しいんです。阿見町で一番です。」とおっしゃいます。先日は、4年生の教室へいらっしゃいました。

給食の良さについて、地産地消による阿見町のおいしい食材、それを作っている生産者の方についてなど、楽しい話の最後には給食の配膳もしていただいて、子供たちは大喜び。普段より美味しく感じたかな？



先日、本郷小学校のリクエスト献立を紹介しました。同様に、町内の各学校からのリクエスト献立があったり、季節の行事に合わせて行事献立があったりと阿見町の給食はとても工夫されていてとっても美味しいです。12月にはクリスマス献立、冬至献立もあります。さらには、町内の小中学生に募集した「地場産物を使用した給食レシピ」で献立が考えられて、12月から取り入れられます。楽しみです。

新型コロナウイルス感染症対策で控えていたグループ給食も復活して楽しい雰囲気です。お子さんに様子を聞いてみてください。この写真は↑国語の教科書にある『りっちゃんサラダ』。本当に作っちゃうなんて、これもすごい！

